

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

尾道造船株式会社 尾道造船所

(2) 事業所の所在地

広島県尾道市山波町1005番地

(3) 業種

【3131】 船舶製造・修理業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年（2013年）度を基準年度とする。

平成27年（2015年度）から平成30年（2018年）度までの4年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： [エネルギー起源CO₂] = 使用鋼材量（千トン）

[非エネルギー起源CO₂] = ごみ焼却量（トン）

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比 (e))			
			平成 25年度	平成 30年度	平成 27年度	平成28年度
エネルギー 起源CO ₂ (tCO ₂)	145.4	139 -4.4	148.2 1.9	165.9 14.1	165.1 13.5	152.4 4.8
非エネルギー 起源CO ₂ (tCO ₂)	0.674	0 -	1.182 75.4	0 -	0 -	0 -
メタン						
一酸化二窒素						
その他 温室効果ガス						
温室効果ガス 総排出量	146.074	139 -4.8	149.382 2.3	165.9 13.6	165.1 13.0	152.4 4.3
エネルギー消費原 単位 (原油換算kl)	4074		4146 1.8	4340 6.5	4053 ▲0.5	4132 1.4
実績に対する 自己評価		CO ₂ 削減の取り組みは進んでいる。				

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	・燃料の使用量を削減	・アイドリングストップの徹底
2	CO2漏れの削減	・CO2漏れの削減	・調査器具を使用し漏れの箇所を削減
3	電気使用量の削減	・現場ハウスの電気の使用量を削減	・LEDライトへの変更

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	特になし	
2		
3		

○ その他の取組み（環境に配慮した実践的な取組み）

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量の削減	・両面コピー、裏面利用、複合機を活用し配布物の削減
2	資源のリサイクル化を促進	廃油、古紙で回収量を2%増加	・廃油の分別を図りリサイクル量を増やす ・古紙のリサイクル化を周知する

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

以 上